

のぐち歯科・口腔外科医院だより

2018年夏号 Vol. 06



100回目の夏 開幕！！

いよいよ高校球児の夏が始まりました。今年は100 回目の記念大会ということでマスコミでも大きく取り上げられています。先日の長野県大会開会式では、岡谷南高校の小林主将が「先輩方が築き上げた高校野球の歴史を、次の100年へとつなげる第一歩となるよう、最後の1球まで全力で戦い抜く」といった力強い宣誓がなされました。野球好きの私は、球児達の戦う姿勢は勿論のこと、随所に各校の戦略が見えるところが高校野球の魅力です。加えて、今大会に出場する当院通院中の高校球児が何人かいます。

おかげさまで全員、**歯の治療は済んでいます**ので全力で頑張ってくれると思います。

世界は違いますが、私も7月末の富山で開催される歯科医師の北陸6 県対抗野球大会、10月の全国歯科医師野球大会を控えております。

今年は、北陸6 県3 連覇、全国大会2 連覇のかかった大会になります。

高校球児に負けないように頑張りたいと思います。

院長 野口和秀



知って得する歯科の知識6

口腔がんのQ & A

★診療中によく頂くご質問です（「口腔外科学」医歯薬出版参照）

Q1：口腔がんは何処にできますか？

わが国では、舌が口腔がん全体の約60%で最も多く、続いて歯肉（歯茎）、口腔底（舌の下の部分）、頬粘膜に多いとされています。

Q2：父親が口腔がんになりました、遺伝しますか？

口腔がんの遺伝については、否定されています。一般的にタバコの喫煙、飲酒は原因として考えられています。その他には、適合の悪い歯の被せ物や入れ歯による慢性的な刺激、ヒトパピローマウイルス、EBウイルスによる感染が原因となり得るとの報告があります。

Q3：どのようにしたら口腔がんを予防できますか？

定期的に口腔がん検診を受けていただくことが大切です。検診では、口の中の粘膜の異常を診査するだけでなく、適合の悪い詰め物や被せ物がないか等の診査を行います。

当院でも口腔がん検診を行っておりますのでご相談ください。



スタッフから

熱中症対策に果物を・・・

熱中症対策には「水分・塩分」が大切なことをご存知ですね。これは、失った水分の補給と水分の吸収を助ける塩分の摂取が大切であることからこのように言われています。

日本では、甘みが増すということで、スイカに塩をかけて食べることを好むひとがいます。これは、熱中症対策の観点から考えてもとても理にかなっていると言えますね。

また、南国で育つ果物の多くは、体温を下げる効果があると言われます。暑い夏場には、ぴったりですね。

これから暑い日が続きますが、果物を上手に選んで、夏を乗り越えましょう！

受付・歯科助手 越